

分科会一覧

時間： 午前(10～12時) 午後(13～15時)

※⑩の分科会の時間が変更になっています

午前
①子どもの特別に大切な3つの権利「安心・自信・自由」(対象:おとな、定員:30人、企画団体:CAPセンターJAPAN) 子どもへの暴力防止プログラムであるCAP(キャップ)が伝える「子どもの特別に大切な3つの権利 安心・自信・自由」を通して、子どもの視点にたった子どもの権利をグループワークで考えます。皆さんで考えた子どもの権利「安心・自信・自由」は、分科会後に展示します。
②“子ども専用”の取り組みから見える子どもの権利の今、そしてこれから(対象:おとな、定員:80人、企画団体:CAPセンターJAPAN) 子どもの人権侵害である様々な子どもへの暴力。その中において当事者である子どもたちは様々な形で発信をし、そこから活動が始まった“子ども専用”の取り組み。日本での子どもの人権の今を“子ども専用”の取り組みから浮き彫りにし、これからを考えていきます。
③カンボジアの子どもたちの悩みとアクション～この夏、見てきたユースから聞いてみよう！(対象:中学生世代以上、定員:40人、企画団体:国際子ども権利センター) カンボジアの子どもたちはどんなことに悩んでいるのか？学校に行きたいのに働かなくちゃいけないこと？それに対して子どもたちは何か活動しているのか？子ども同士で話し合い、社会に訴えているのか？親はどんなふうに考えているのか？などをお話します。
④THE・こたえまショー！～子どものことは子どもに聴いて。おとなの悩みも一緒に考えます。～(対象:だれでも、定員:40人、企画団体:子ども情報研究センターはらっぱ子ども編集部) 子どものことを、子どもに聴かず「きつこうだろう」とか「子どもにとってはこれが一番！」と決めつけていませんか。この時間は、おとながほくら子どもに聴きたいことを質問してもらっていい時間です。ほくらの気持ちや考えを一生懸命伝えます。
⑤不登校を経験した私たちの今(対象:おとな、定員:40人、企画団体:東京シュレ) 不登校を経験した子ども達は、学校外でどのように過ごし、学び、そしてその後の進路を歩んでいるのでしょうか。分科会では、自主製作映画「不登校なう」上映の他、当事者に不登校経験から今に至るまでを語ってもらい、参加者の皆さんと交流したいと思います。
⑥一緒に考えよう！子どもと大人のいいカンケイ(対象:小学生世代以上、定員:80人、企画団体:とやま子どもの権利条約ネット子ども実行委員) ロールプレイを使って子どもと大人のいい関係を考えます。パターン1 いじめを相談した時の先生の対応、パターン2 帰宅時の親との会話 09年富山大会で提案した「親に守ってほしい5箇条」を、参加したみなさんと一緒に、バージョンアップさせましょう
⑦子ども×フクシマ×権利(対象:だれでも、定員:40人、企画団体:フェリス女学院大学 サマースクールプログラム@横浜) 私達の大学では3.11以降、毎年夏休みに福島の子供達を横浜に招く保養プログラムを行っています。この活動に関わった学生達は福島の子供達に“ある変化”を感じました。分科会では私達を感じたある変化から“子どもらしさ”とは何かを考えたいと思います。
⑧東北の子どもたちのまちづくり～震災から2年半たつて～(対象:小5世代以上、定員:40人、企画団体:セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン) 岩手県山田町、陸前高田市、宮城県石巻市の「子どもまちづくりクラブ」で活動する子どもたちが、各地域の現状や復興に向けて子どもたち自身が取り組んでいる活動を発表。発表後は参加者との意見交換も予定！東北の子どもたちの“生の声”を聴ける機会です！
⑩権利を奪われた世界の子どもたち×私たちにできること(対象:だれでも、定員:40人、企画団体:フリー・ザ・チルドレン・ジャパン) 大人のように働かされ、教育の機会を奪われている子どもの数1億6,800万人。権利を奪われた世界の子どもたちの現状を知り、私たち一人一人にできることをワークショップを通じて考えます。

午後
⑨子どもの権利から考えるふくしまと世界の子どもたち(対象:だれでも、定員:160人、企画団体:国際子ども権利センター) 甲状腺がんなど様々な症状が出ている福島の子供達。そこで遊んでいいのか、これを食べてもいいのか毎日選択を迫られ、不安を口にするのも難しい。子どもを守るために奔走する福島の女性と『パレスチナが見たい』著者の森沢典子さんから話を聞いて考えます。
⑪国連・子どもの権利委員会の勧告を振り返る(対象:だれでも、意欲のある人)、定員:40人、企画団体:子どもの権利条約ネットワーク) 来年(2014年)は日本の条約批准20周年。この間、国連・子どもの権利委員会から3回勧告を受けてきましたが、その結果、何が変わり、何が変わらなかったのか。他の人権条約にも目配りしながら、考えます。
⑫「みんなで語ろう子どもの参画～これまでの成果を未来へ～」(対象:おとな、定員:30人、企画団体:子どもの参画研究会) 今、子どもの居場所づくりや学校教育、社会教育の場、地域でのイベント、まちづくりなど、多様な現場で子どもの参画実践が行われています。この分科会では、子どもの参画に関わる(関わりたい)人達が集まり、「実践の成果」に焦点を当てて語り合う場をつくります。
⑬「どうしてわかってくれないの？～子どもの気持ち おとなの気持ち～」(対象:だれでも、定員:20人、企画団体:早稲田大学文化構想学部喜多ゼミ) 子どもとおとな、どちらかがムリヤリ説得しようとするのではなく、お互いが納得できるようにするためにどうやって話せばいいんだろう。おとなも子どもも、お互いの気持ちを考えながらみんなで一緒に考えよう！
⑭不登校の子どもたちの権利宣言～学校の中における子どもの権利～(対象:子ども・ユース、定員:40人、企画団体:東京シュレ) 「不登校の子どもたちの権利宣言」は、学校における様々な権利が保障されていない状況へのアピールでもあります。分科会では、不登校である・ないにかかわらず、「学校」をテーマに経験や思いを出し合い、私たち子どもの権利について考えていきたいと思います。
⑮子どもをたたかないで!! ならないで!!(対象:小学生世代以上、定員:30人、企画団体:CAPセンターJAPAN) 子どもとおとなで体罰(たいばつ)を使わない方法(ほうほう)をいっしょにかんがえます。子どもの権利(けんり)がまもられ、自分は大切(たいせつ)な人というきもちをもつために、おとなはどうしたらいい? みんなのいけんをおしえてください。
⑯模擬国会(1day議員体験)～10代の声、国会に届けよう～(対象:子ども(10代なら可)、定員:40人、企画団体:僕らの一歩が日本を変える。) 模擬国会を行います。参加者は既存の政党をイメージした架空の党の党員となりある1つの議題について党としての方針を決め、それらをすりあわせて最終的に1つの法案を成立させることを目指します。この法案に対して現職の議員さんからアドバイスを頂きます。

終日
⑰「Teens' Café × いじめ」* 熱く語りあう1日(対象:中学生世代以上、定員:40人、企画団体:子どもNPO) みなさんは、「いじめ」について考えたことはありますか。今、学校等では、深刻な「いじめ」による問題が起きています。「いじめ」の何が問題なのか、問題解決のためにどんなことができるのかでしょうか。いじめたり、いじめられたり、経験のある人、無い人も、ほっとけない気持ちで語り合いましょう! ※途中参加・退室可
⑱子どもの声をきかせてくださいー子どものけんりのかるたをつくらうー(対象:だれでも、定員:30人、企画団体:子どもの権利条約ネットワーク) 「いちばんすきなあそび」「わたしのおきにいり」「おとなにきてほしいこと」「なんかいやだなあ(っ 旦))」どんなことでもかまいません。あなたの声をもとに、子どものけんりのかるたをつくりませんか。赤ちゃんからおとなまで、だれでもさんかできます。 ※途中参加・退室可
⑲フリースペース(対象:だれでも、企画団体:子どもユース実行委員会) ※事前申し込み不要 ※汚れてもよい服装または着替えをお持ちください フリースペースに、遊び、読書、大きな布にお絵描き、ダンボール工作、カフェスペースを用意しました。静かに休むのも遊ぶのもOK。分科会の合間にどうぞ初めて会った人同士でも交流できる所です。ユーススタッフがいたので1人でも安心して来てください♪ ※途中参加・退室可
⑳展示・映像ブース(対象:だれでも、企画団体:実行委員会) ※事前申し込み不要 展示ブースでは、子どもやユースが参加している団体の活動の中で、あるいは個人で製作した作品を展示します。映像ブースでは、子どもの権利に関わる映像や、子ども・ユースが主体となって作成した映像を上映します。多くがここでしか見れない作品です!